

# IFUJI

## 木の工芸ブランド IFUJI 2022 初夏のご案内

- 新作のご案内

- 東京初店舗 IFUJI the box tailor のご案内



IFUJI the box tailor 内観 Photo : Masaki Ogawa

住空間において感性に響く美しさや質の高さを大切にする人々に向け、<木>という素材を通しハンドメイドの工芸ブランドとして長野県松本を拠点に活動してきたIFUJIは、2022年4月29日（金・祝）、東京都台東区田原町に、東京初の直営店「IFUJI the box tailor (イフジ・ザ・ボックステイラー)」をオープンいたしました。

IFUJIの代表作OVAL BOXの全ラインアップのサンプルを取り揃え、素材、色、サイズ、スタイルの異なる12,000以上の組み合わせの中から、世界で一つだけのOVAL BOXを一点から注文することが可能なビスポーク・サービスを行います。また、IFUJI製品のメンテナンス、アフターケアの受付窓口も設けています。厳選された素材と妥協のないものづくりをとおして、世紀をこえて大切に使われ、愛され、さらにより美しく成長していく製品づくりを追求しています。ぜひ店頭にてご体感ください。

本リリースでは、店舗および新商品をご案内します。  
東京の店舗では、お貸出しやリースなどにも対応してまいります。  
お気軽にお問合せください。

## 店舗概要

店名. IFUJI the box tailor (イフジ・ザ・ボックステイラー)

住所. 東京都台東区松が谷 2-1 5-8 ROOST BLDG 1F

電話番号. 03-5246-3345

営業時間. 12:00-18:00

定休日. 毎週火曜、水曜日（祝日の場合は振替営業）、年末年始

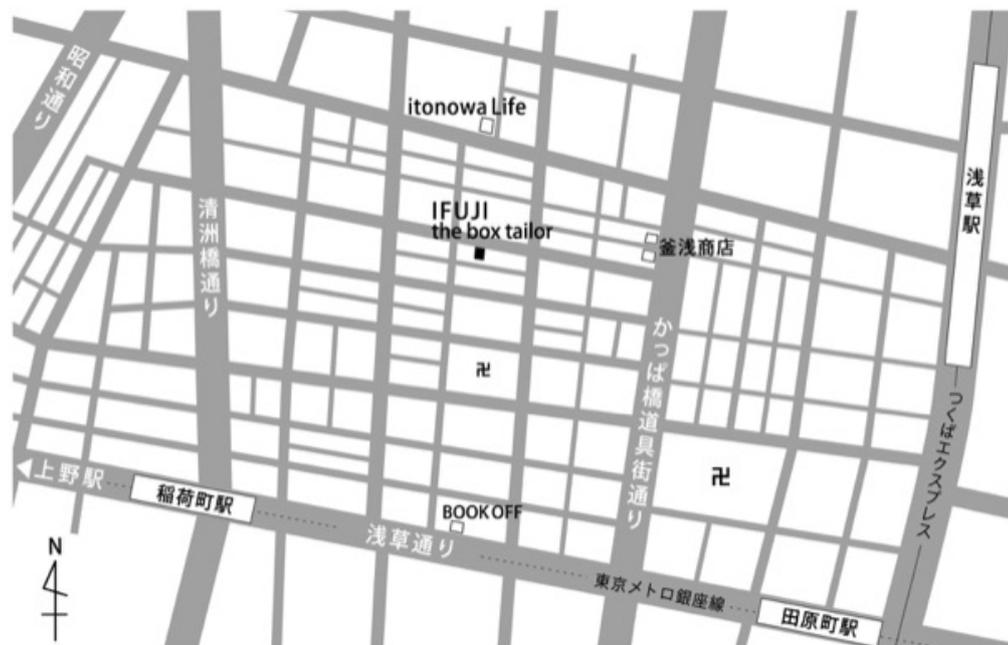
ウェブサイト. <https://ifuji.net>

## IFUJI the box tailor 外観、店内



Photo : Masaki Ogawa

## ACCESS MAP



## 2022年春の新商品のご案内

**New R スツール (受注販売)**

¥80,000 サイズ：W450 x D280 x SH420 mm

脚部は、アメリカン・ウィンザーチェアの様式を援用し、クラフト感を際立たせている。

一つひとつ「三度黒」と呼ばれる伝統的な黒染技法で、草木の染料を用いて染められています。

無垢の厚板を削り出して制作された曲面（R形）の座面は、長時間座ったときの臀部の痛みや疲れを軽減するためにデザインされています。

道具としての有用性に、座ったときの快適性をプラスし、部屋に取り入れた時、ピリッとアクセントを効かせる存在を指向したデザイン。

**OVAL BOX TYPE - EXD**

¥12,000～¥66,000 サイズ：1、2、3、6

「EXD」とはextra deepの略で、従来の深さのある「D」 type のOVAL BOXよりも、さらに深いシリーズ。

アロマオイルや化粧水など、高さのある瓶ものなどの収納にも便利です。

いずれも無垢の一枚板を曲げて一点一点制作し、人体に無害な自然オイルと蜜蝋ワックスのみで仕上げています。

**ITALIAN TRAY/ ITALIAN ROUND PLATE**

ルネッサンス期のフィレンツェで再興した幾何学によるデザインを取り入れた食器のシリーズ。無垢のカエデ材をコンピューター制御の加工機で切削し、草木染で一枚一枚染め上げています。「水ガラス」と呼ばれるガラス系の自然塗料を塗布し、耐水性を高めているため、料理を直接盛り付けることができます。

草木染の経年変化により、年月とともに味わいに変化していきます。



イタリアンラウンドプレート ¥9,000～¥13,000  
草木染（カエデ）/三度黒 サイズ S～L



イタリアントレイ ¥9,000～¥14,000  
草木染（カエデ）/三度黒、サイズ S～L

## IFUJI the box tailorの店名の由来

“the box tailor”とは、IFUJIの主要製品であるOVAL BOX特有の継ぎ目の呼び方「スワロウ・テイル（燕の尾羽）」と、オーダー紳士服の「テイラー」からとった造語を店名につけています。その名の通り、お客様のご要望にお応えするサービスをご用意しています。

## IFUJI the box tailorが提供するサービス

### 1 商品販売および家具の受注

4坪弱というささやかな店内スペースのため、限られた数量ですが、定番のOVAL BOXやテーブルウェアを揃えます。店頭にはない製品の注文取り寄せ、家具の受注も承ります。OVAL BOXについては次頁をご覧ください。

### 2 ビスポーク・サービス

IFUJI the box tailorの名の通り、新店舗ではOVAL BOXの全ラインアップのサンプルを取り揃え、素材、色、サイズ、スタイルの異なる12,000以上の組み合わせの中から、世界で一つだけのOVAL BOXを一点から注文することが可能です。

### 3 IFUJI製品のメンテナンス、アフターケアの受付窓口

- ・自然素材である木製品の使用上の質問、日頃の手入れやメンテナンス方法、修理の相談などに、スタッフが直接対応し、アドバイスをいたします。
- ・破損などで工房での修理が必要な場合は店頭で製品をお預かりし修理を承ります。
- ・長年の使用によって生じた品質上の劣化などを磨き直しや再塗装を行うことで軽減し、製品寿命をさらに引き伸ばすための、リフレッシュサービスを承ります。
- ・メンテナンスのためのオイルやワックス、メンテナンスキットなどの販売を行うと同時に、メンテナンスのワークショップを定期的で開催します。（予定）

## 商品ラインアップ

OVAL BOX / テーブルウェア（お盆、プレート、他） / 家具（テーブル、椅子、タオルラック、他） / メンテナンスのためのオイルやワックス、メンテナンスキットなど。その他ご相談に応じます。



折畳みテーブル ¥190,000



三本脚スツール ¥44,000～¥40,000～¥45,000



タオルラック ¥38,500～¥66,000

価格：税込

## OVAL BOXについて

商品ラインアップの中でも、IFUJIがシェーカースタイルのOVAL BOX を初めて製作した2005年以来、サイズ、樹種、カラーの種類を増やして今では700種類以上をご用意しています。



OVAL BOX (Milk Paint) ¥6500~¥30000



OVAL BOX (Sakura) ¥6,500 ~ ¥120,000

## 制作について

18世紀後半～19世紀アメリカのシェーカー教徒のスタイルを研究し、ほとんどを手作業で行います。強度をあげるためのスワロウテイルと呼ばれる繊細な継手の部分も、熟練の職人がハンドカットで切り出しています。ひとつひとつ手作業で丁寧に作られるその工程は14以上に及び、一つのボックスが完成するまでに1週間以上を要します。

## 材料、素材

木材：アメリカと日本国内から調達した最高品質の材料を使用し、かつ、一本一本、OVAL BOX用に製材し、木の味わいを損なわないよう一年以上かけてじっくり自然乾燥。蓋板と底板は、無垢材の質感と修繕性を考えて、特注の厚突きの突板合板を使用。合板部分に少量の接着剤使用。

スワロウテイルを留める銅釘：19世紀の釘製造機で作られたものをアメリカから取り寄せて使用。

塗料：環境や健康にも配慮し、亜麻仁油を主原料とした植物性オイルと蜜蝋ワックスを使用。

組立：接着剤不使用

染料：草木染製品については、天然の染料と媒染剤を使用し、時間をかけて手作業で染めあげ。

ペイント製品については、牛乳と天然の顔料を成分とするミルクペイントを一つひとつ刷毛で塗布。

サイズ：BOX底面に、#0～12までの数字が配置されたサイズ表記が刻印されており、そのBOXのサイズがひと目で判読できる。

価格：税込

## IFUJI (イフジ)

井藤昌志が提案する世紀を超えて使い続けられる美しく機能的な木製品を制作する工芸ブランド。シェーカースタイルのOVAL BOX、無垢の木材を使用したテーブルウェア、伝統的な仕口で製作された家具の3つのラインを展開します。人々の生活を美しく飾り、愛され続ける手仕事の木製品を通して、多量消費文化からの脱却がもたらされる新しい時代のものづくりを追求しています。

## 井藤昌志 (イフジマサシ)

1966年生まれ。岐阜県出身。木工家

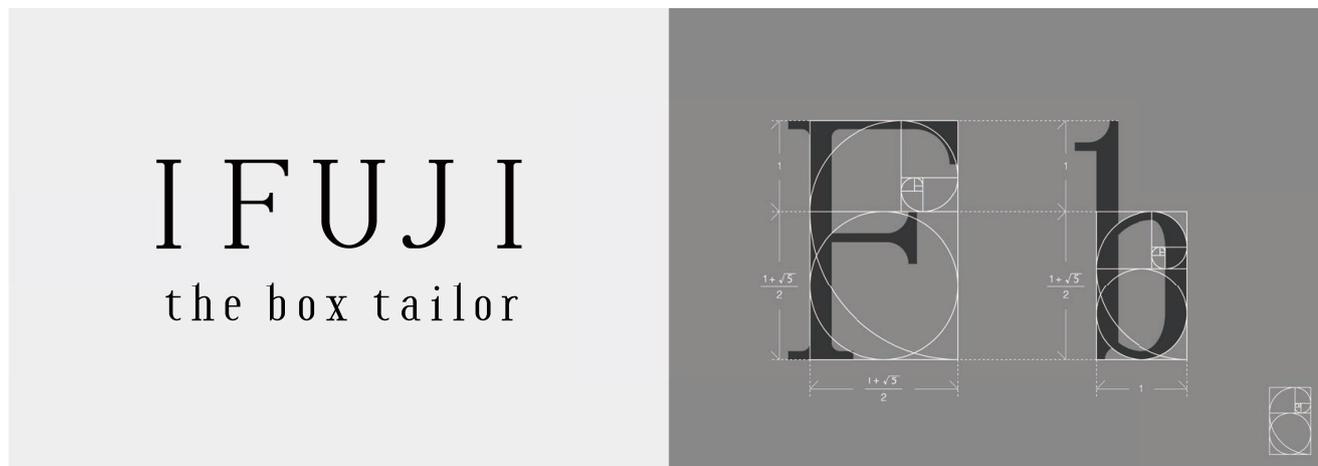
家具の修行を経て2003年、岐阜県で木工の工房を設立。2009年に長野県松本市へ工房移転。同年、市内に自身の店舗「LABORATORIO」を開設。ギャラリーでの個展や店舗での販売などを通じ活動を続けていましたが、生産規模の拡大等にともない2021年、個人名での活動を停止し、自身が主宰する工芸ブランド「IFUJI」として再出発しました。

## IFUJI ロゴのリニューアルについて

工芸ブランド“IFUJI”のロゴを、東京初の直営店オープンにあわせリニューアルしました。

デザインを手掛けたのは、EDING:POST inc.のデザイナー 加藤 智啓。

IFUJIの姿勢に相応しいロゴを考案するにあたり、古代ギリシャ起源と言われ、歴史的建造物や美術品の中に見出される西洋由来の“黄金比”に着目し、1: 1.618…の“黄金長方形”と“黄金螺旋”から、必然的に生み出される図形のみを素材としたオリジナル書体「IFUJI φ font」を開発しました。また、中国起源で木版印刷の発展により自然発生し、東洋で普及する“明朝体”に整えることにより、西洋と東洋の美意識が融合する“IFUJI”のものづくりと親和性のあるロゴとして構築しています。



フォント図解

### プレス問合せ先

HOW INC.

TEL 03-5414-6405

MAIL [pressrelease@how-pr.co.jp](mailto:pressrelease@how-pr.co.jp)

### 読者問合せ先

IFUJI the box tailor

TEL 03-5246-3345

MAIL [tokyo@ifuji.net](mailto:tokyo@ifuji.net)